

アルバの革新的な無線LANスイッチを基盤にネットワークソリューションを強化

ネットワーク・ソリューション・プロバイダ(以下、NSP)としての事業を積極的に強化しているインターネットイニシアティブ(以下、IIJ)。同社では、その事業の核ともいえる無線LANのプラットフォームに、集中管理機能やセキュリティ機能などを備えるアルバイヤレスネットワークスの無線LANスイッチングシステム及びアクセスポイントを採用。アルバ製品と独自のネットワーク管理ツールを組み合わせ、「広域無線イーサネットソリューション」を提案するなど、アルバの革新的な無線LANソリューションが、IIJの事業拡大に一役買っている。



株式会社インターネットイニシアティブ
ネットワークインテグレーション部

山田 泰資氏

無線LANにフォーカスしてネットワーク構築事業を拡充

IIJは、日本最大規模のインターネットバックボーンを始め、データセンターサービスやマネージドファイアウォールサービス、eコマースに代表されるWebシステムなど、ネットワークとシステムの両面で豊富な構築・運用実績を持つ。近年は、企業が抱えるネットワーク/システムの課題を解決するネットワークソリューションに注力。ISPからNSPへの事業を強化している。

同社のネットワークソリューションの特徴は、様々なニーズに対応しつつ、低コストかつ高品質なソリューションが提供できる点。高品質・高信頼性のネットワーク(IIJバックボーン)をベースに、インターネットやWAN、LANを構築・運用してきた豊富なノウハウを融合させているのだ。

こうしたネットワークソリューションの中でも、最近特に注目を集めているのが、プラグ&ジョインで全拠点のインターネットVPNの導入・運用を一括管理できる「IIJ SMF(SEIL Management Framework以下、SMF)」だ。

IIJ SMFは、各拠点でサービスアダプ

タ(SEILルーター)をネットワークに接続するだけで、自動的にSMFシステム上の設定情報を取得し動作を開始。各拠点での設定作業は不要となる上、設定情報の変更・更新、新機能の追加などもセンター側から一括管理することが可能だという。

IIJ SMFを始め、同社がこうしたネットワークソリューションの拡充を積極的に進めているのは、多種多様なネットワークに対するニーズが寄せられるようになったからだ。

「WANのみならず、LAN構築のニーズも増えています。企業が抱える問題点を解決する各種ソリューションを提案していますが、企業ネットワークの安全性を確保するセキュリティと、利便性を高める無線LANにフォーカスしたソリューションは、特に大きな期待を寄せられています」と、IIJネットワークインテグレーション部の山田 泰資氏はその背景について話す。企業の無線LANへの関心は高く、すでにいくつもの無線LAN構築を手がけているという。

柔軟な構成と集中管理が可能なアルバの無線LANを採用

無線LANの構築にあたり、山田氏の所属するネットワークインテグレーション部では、無線LANのプラットフォームとして、アルバイヤレスネットワークスの無線LANスイッチングシステム、及びアクセスポイントを採用している。その理由について山田氏は、「集中管理が可能な無線LANスイッチとしての充実した機能はもちろん、IEEE802.1x認証やWPA、フ

ァイアウォール、VPNといった統合化されたセキュリティなど、豊富な機能を備え、柔軟性の高い無線LANシステムを構築することができるからです」と説明する。

山田氏がこう評価するように、アルバの無線LANスイッチングシステムの大きな特徴は、マルチレイヤに対応するセキュリティ機能にある。802.1xとWPA、AESなどによるL2セキュリティ、IPsec、PPTP VPNによるL3セキュリティや、移動してもユーザーごとのポリシー適用が可能なファイアウォール、攻撃からシステムを保護する無線IDS、不正APの自動検知と自動無効化など、多彩なセキュリティ機能を実装しているのだ。

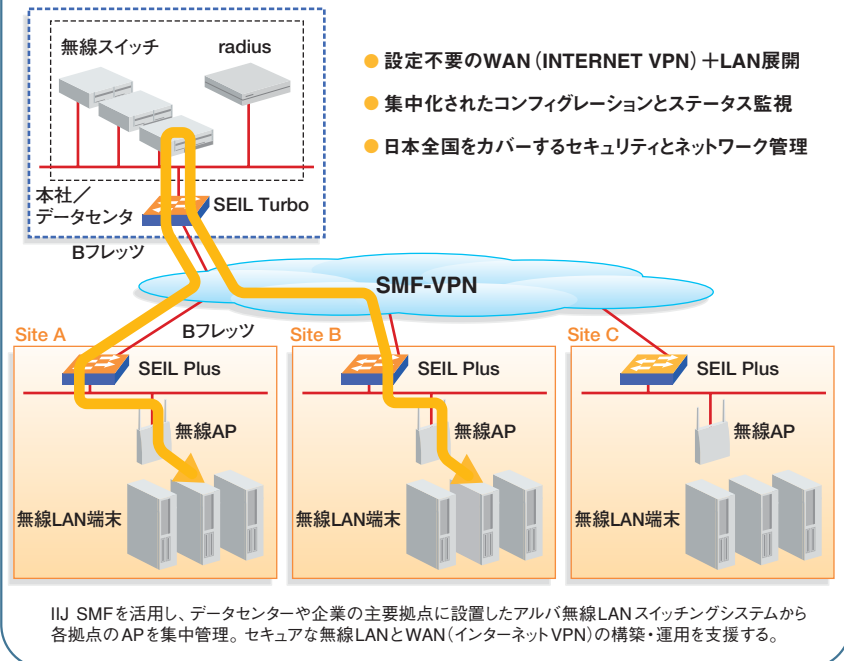
「プロキシDHCPとモバイルIP機能により、アクセスポイント間で無線LAN端末を移動する場合にもVPNセッションを維持することができ、強固なセキュリティを要求する企業ニーズにも柔軟に対応することができます」と山田氏は評価する。こうしたシームレスなモビリティやVPN、無線LANの設計、解析、集中管理などの機能は、基本ソフトの「AirOS」で提供されている。

また、アルバのアクセスポイントは、ユーザーアクセスを高速処理するとともに無線モニターとしても機能し、無線LANスイッチングシステムから集中管理する独自のアーキテクチャを採用。一方、ユーザー認証や暗号化、VPNターミネーションなどの各種機能は、アクセスポイント側ではなく無線LANスイッチ側に搭載している。こうした機能群により、アクセスポイントをネットワークに接続するだけで、無線LANスイッチが各アクセスポイントに対して自動的に設定を行う仕組みが実現したのだ。

IIJ SMFとアルバの無線LANを組み合わせたソリューションを提案

プラグ&プレイで各拠点の無線LANを展開できるアルバ製品の利点を活か

IIJが提供する広域無線イーサネットソリューションの概要



し、IIJでは新たに「広域無線イーサネットソリューション」を提案している(図参照)。

「サービスアダプタをネットワークに接続するだけで自動的に設定できるIIJ SMFと、アルバの無線LANソリューションを組み合わせることにより、企業は無線LANをベースにした広域ネットワークを低コストかつスピーディに構築することができます」と山田氏はその優位性を話す。

具体的には、各拠点にアクセスポイントのみを設置して、IIJのデータセンターまたは企業のセンター拠点に設置される無線LANスイッチから、WAN(インターネットVPN)を介して各アクセスポイントを集中管理する。各拠点に配布するサービスアダプタとアクセスポイントは自動的に設定情報がインストールされるため、各拠点では手間をかけずに無線LANを活用した広域通信が可能になる。

「各拠点は無線LANスイッチが不要になり、導入コストを抑えることができます。また、拠点に複数台の無線LANスイッチを設置する場合でも、サービスアダプタを介してセットアップできるなど、センターからの集中管理により、設定や変更も一括して行えるため、企業はWANと

無線LANの運用管理負荷を軽減することが可能です」と山田氏はその利点を解説する。

現在、さらなるトラフィックの円滑化に向け、拠点内のアクセスポイントでロールトラフィックを処理できるようアルバと検討を重ねているという。

IIJでは今後、無線LANの集中管理など企業ユーザーの要望に応じたサービス提供とともに、無線LANをベースにした監視カメラや会議システムなどの各種アプリケーションを提案していく計画だ。IIJのネットワークソリューションの拡充とともに、アルバ製品の役割もまた、広がっていくことになるだろう。

※本記事に掲載しているすべての社名/商品名は、各社の商標または登録商標です。

「Arubaテクニカルセミナーのご案内」

テーマ: Gridアーキテクチャによる
内部ネットワーク・セキュリティ・ソリューション
—Security, Mobility, Wireless—
日程: 4月18日 14:00-17:30
詳細・申し込みは、
<http://www.arubanetworks.co.jp>を参照願います。

お問い合わせ

ARUBA

アルバイヤレスネットワークス株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F
TEL.03-5771-6400 FAX.03-5771-6401
URL.<http://www.arubanetworks.co.jp>

USER PROFILE

IIJ

Internet Initiative Japan

株式会社インターネットイニシアティブ

本社 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング

設立 1992年12月

資本金 137億6500万円

従業員数 919名(2004年3月末現在、グループ会社含む)

インターネット技術の国際標準化の推進など、高度な技術力を背景にインターネットなどのネットワークサービスの提供からネットワークシステムの構築・保守・運用、通信機器の開発・販売まで広範な事業を展開している。

<http://www.iij.ad.jp/>